製作 松竹

松竹新喜劇
錦秋特別公演

公演日時

2019年
11月13日（水）初日から 24日（日）千穐楽

昼の部	11時開演	夜の部	16時開演

◎初日13日のみ11時開演1回公演

第一部

まいこはんとわかだんな

舞妓はんと若旦那 印

恋の駆け引きにご用心！
相思相愛の舞妓と若旦那に起こった試練とは・・・?!

京の薬種問屋の若旦那要二郎は舞妓清香と恋仲でお茶屋に居続け遊びほうけています。心配した母のお甲は番頭伊助を迎えにやりますが、ミイラとりがミイラとなり伊助も加わっての大散財となりました。業を煮やしたお甲はお茶屋に乗り込みますが、そこはかわいい息子のこと。清香に実があれば嫁に迎えようと約束し、薬種問屋らしい方法で清香の本心を試すことにしますが・・・

『さいなら』というタイトルでも上演されてきた京のはんなりした香りが漂う人気演目。新派の齋藤雅文を演出に迎え、松竹新喜劇の初々しい恋物語をお届けします。

第二部

おおさかの かぞくはつらいよ

大阪の家族はつらいよ 印

あの「寅さん」の山田洋次監督がつくる大阪の喜劇。
なにわの家族は、やかましさ200%!!

大阪・谷町六丁目。平田周造と富子夫婦は、長男家族と次男の三世帯暮らし。近所に住む長女も夫婦喧嘩しては実家へ駆け込んでくる年中にぎやかな家族です。ある日の誕生日に、富子が周造に願ったプレゼントは離婚届へのハンコ。史上最大の家族の危機のため開かれた家族会議で、みんなの不満が続出するなか、突然次男の恋人が挨拶に訪れ平田家はてんやわんや。家族みんな、それぞれの幸せは訪れるのか?!

「コレうちの話やん！」「お父ちゃんに見せなアカン！」と大阪の人たちの反響が、映画シリーズの二作、三作目の原動力となったと語る山田監督が、生粋の大阪人のわかぎゑふとともに舞台化する、煩わしくて、愛おしい大阪の家族の物語です。

一、『舞妓はんと若旦那』 美術/前田剛 照明/平木信二 効果/畑中富雄 衣裳/阿部浩 振付/山村友五郎
二、『大阪の 家族はつらいよ』 美術/前田剛 照明/平木信二 音楽/中島千絵 音響/小寺仁 衣裳/松田和夫 子役指導/上野三枝 脚本助手/房俊介
舞台監督/古山昌克・木下三郎 舞台監督助手/北村侑也 制作/牧原広幸・河辺幸枝・野村英孝・松本渓 制作助手/阿部尚子

2019年9月4日（水）午前10時より電話・Web受付開始

11月

	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日
昼の部（11時開演）	●	●	貸切	●	●	●	貸切	●	●	貸切	●	●
夜の部（16時開演）		●	●	●	貸切	●	●	●	貸切	●	●	●

ご観劇料（税込）

一等席 11,000円　二等席 6,000円　三等席 4,000円

◎窓口販売・お引取りは9月6日（金）より ◎窓口販売用別枠でのお取置きはございません。

ご予約は

チケットホン松竹
受付時間
午前10時～午後6時
→ **0570-000-489**※
または大阪 06-6530-0333
※ナビダイヤルは交換機等の設定によってはかかりません。
◎チケットホン松竹では当日券はご予約いただけません。

チケットWeb松竹
24時間受付
前売初日は午前10時から
→ チケットWeb松竹 検索
※チケットWeb松竹のお問合わせ
03-3545-2200（午前10時～午後6時）

前売券取扱所
◎大阪松竹座 ◎南座 ◎歌舞伎座 ◎新橋演舞場
◎チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:497-323] https://w.pia.jp/t/shochikuza/
◎ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード:54125] l-tike.com/
◎イープラス https://eplus.jp/shochikuza/

◎団体のお申し込みは → 06-6214-2212 営業課まで
◎松竹ホームページ → http://www.shochiku.co.jp

大阪松竹座
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-9-19
地下鉄「なんば駅」14号出口 徒歩約1分
お問い合わせは ☎06-6214-2211